

わが子に 「一生黒字」で いられる力をつける!

[書籍概要]

書名：年収1000万円「稼げる子」の育て方

著者：林總（はやしあつむ）

2017年7月14日発売

定価：本体1,380円＋税

判型：四六判並製 / ページ数：240P

ISBN 978-4-86651-007-1 c0095



ドラッカーに学んだ公認会計士の教育論

「マネープレッシャー（お金の心配）がないこと」、「好きな仕事で稼ぐこと」が、人間の幸せの大きな土台になる、という考えをもとに、

- ・ 中学受験、親はスケジュール管理のみ徹底
- ・ 会計の知識を子どもに授けよ
- ・ 「勉強しろ!」と100回言うより、親の仕事の楽しさを子どもに語る
- ・ 「見栄」が価値ある子育てを妨害するので、住む場所が非常に大事

など、具体的な子育て法を指南。

著者は、公認会計士であり、4人の子どもを育てた（しかも4人とも中学受験にチャレンジ）父親でもある林總氏。



□ なぜ、年収1000万円なのか

- ・ 都市で住宅取得
- ・ 子どもふたり以上
- ・ 親の援助なし



という家庭を想定したとき、「マネープレッシャーのない暮らし」をかなえるためには、世帯年収1000万円（額面）という金額がおおよその目安になるからです。

□ 5つのカーストとは？

子育てで考えるべきカーストは5つ。

- ① 人間性
- ② 教養
- ③ 学歴
- ④ 仕事(資格、専門性、やりがい)
- ⑤ 年収

このなかで、もっとも重要なのが①と②で、可能な限り、上のカースト(階層)に子どもを押し上げてあげることが親の務めです。

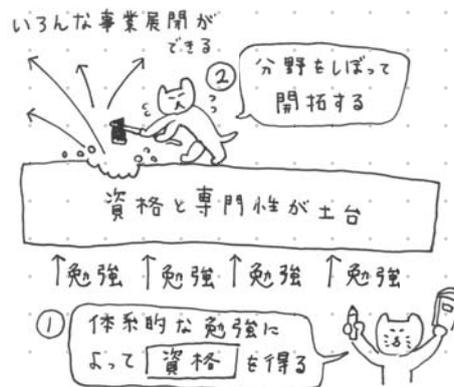


□ 学歴ではなく、「資格と専門性」

4人の子どもには、「資格を取りなさい」と繰り返してきたという著者。

- ・一般の人がまったく知らない分野を深掘りし、
- ・知識を体にしみ込ませていくことで、

仕事の土台となる「専門性」を、極めることができます。さらにその専門性を土台に分野を絞ることで、希少価値が高まり、「稼ぐ力」を強固なものにできるのです。



[著者紹介]

林 總

(はやし あつむ)



公認会計士、明治大学特任教授(管理会計)。外資系会計事務所、監査法人を経て独立。『餃子屋と高級フレンチではどちらが儲かるか』(ダイヤモンド社)、『ドロッカーと会計の話しよう』(中経出版)、『正しい家計管理』(WAVE 出版)ほかベストセラー著書多数。家計も会社経営も子どもの教育も目的は同じで、「お金」に振り回されるのではなく、「満足度の高い人生」を送るために使うべきだと説く。4人の息子の父親であり、会計のプロでもあることから、独自のアドバイスを展開している。

[お問い合わせ]

プレゼント用書籍・掲載用画像
のご用意がございます

株式会社 文響社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9階
 <広報担当> TEL 03-5575-5050 / FAX 03-5575-5051 / Email : info@bunkyoisha.com
 編集担当 : 飛田 淳子 hida.j@bunkyoisha.com

